



八小 CSだより

令和6年12月1日 第5号

学校経営協議会 会長 牛込 晴三千 校長 井口 修

HP <http://www.kodaira.ed.jp/> E-mail gakkou@08.kodaira.ed.jp

令和6年度 第5回学校経営協議会報告

日時 場所: 令和6年11月13日(水)午後5時~6時15分 家庭科室

○会長挨拶

前回、学習の進め方や運動会の変容などの情報発信の在り方に関して、委員の皆さんから多くの意見が出ました。今回は、放課後子ども教室の運営について、後ほど吉川委員からお話がありますので、協議したいと考えています。各委員や組織が連携協働して学校と子どもを支えていくために、より活発な協議の場にしていければと思います。

【学校の現状報告】

○校長より(最近の様子)

- ・運動会の参観をありがとうございました。CSの皆様からのご意見もお願いします。当日は、PTA 本部役員の皆様の会場案内、保護者の皆様のテントの片付け、観客席の入れ替えのご協力があり、無事終了できました。暑さ対策や敬老席の設置、競技内容やグラウンド等、来年度に向けて検討していきます。
- ・青少対「みんなの音楽会」に教員も参加させていただきました。感動のプログラムの連続で、この地域のすごさを改めて実感しました。
- ・11月14、15、16日で学習発表会があります。児童発案で、子どもたちが発達年齢に応じて自分たちで考え、自分たちで話し合っつけています。高学年はほぼすべてを児童がつくっています。その理念と子どもたちの頑張りを発信していきます。
- ・11月30日はいよいよ開校60周年記念式典です。児童がつくりあげる周年です。
- ・朝や放課後に見守りをしてくださっている皆様の声掛けがとても温かいです。おかげさまで子どもたちも安心して登校できます。
- ・この先も若手教員が増えていきます。人材育成の八小です。大きな行事の指導でも、若手を育成していきます。

○生活より ・11月は自分のことも友達のことも大切にする「ふれあい月間」。アンケートを基に丁寧な聞き取りを行い、子どもたちが困っていることに寄り添い対応することで、いじめの未然防止を行っていく。

○特活より ・11月11日の中休みにブロック班活動を行った。校庭や教室で6年生を中心に仲よく遊ぶ様子が見られた。

○研究より ・5年生と3年生の研究授業・協議会実施
回を重ねる度に、児童の資質・能力を育てる授業改善の視点が明確になり、その後の協議会や学年の総合的な学習の時間が活性化している。
・市外の研究発表(区部や埼玉県)の参観
研究推進委員や授業者が分散して市外の研究授業から学ぶことで、知見が広がり、本校のカリキュラムや組織体制、授業等を多角的に改善する準備が整いつつある。

○体育より 先日の運動会開催にあたり、保護者の皆様、地域の皆様、PTAの皆様、武蔵野大学の方々にご協力いただきました。保護者の皆様には、誘導の案内、運動会後のテントの片付けまでご協力いただき、感謝申し上げます。児童発案の運動会が行えるように、5・6年生を中心に準備を進めてきました。「全校児童が全力で取り組む運動会にしたい。」「互いに応援できる運動会にしたい。」という5・6年生の思いから、メインテーマを決めたり応援団を

取り入れたりしました。児童が作る運動会は教員が主導で行う運動会より何倍も力量のいることです。そんな運動会ができる八小のこどもたちを誇りに思います。

○中学校より

10月に合唱コンクールを開催した。それぞれの学年の成長した姿を見ることができた。令和6年度は、小平市はこれまで以上に「特別活動」に力を入れている。学校公開で見ていただいた学級活動(話し合い活動)と同様に「学校行事」もまた、特別活動の取り組みになる。様々な学校行事を通して、児童・生徒は力が身に付いたり愛校心が育ったりしていくと思っている。

〔地域情報〕

OPTA

- ・運動会は保護者としても広い芝生で出来てありがたかった。ぜひ来年も同様をお願いしたい。また、シルバー人材センターに駐輪場や導線誘導を外注したが、保護者の負担軽減等に繋がりが有益であったと考える。
- ・60周年記念として、PTA会費のプール金から寄贈品をお送りしたいと考えており、アンケートを取った結果、会員から500件弱の回答(99%の賛成)を得た。学校とも連携し、今と未来のこどもたちに有意義な使い方をしたい。
- ・マルイで開催された小平フェスについて、広報みつばちの号外として発行した。こうしたPTAのインナーブランディングにも努めていきたい。
- ・次年度のPTA本部役員の選出プロセスがスタートしているが、積極的な立候補は少ない。今後も持続可能な運営を目指してありたい姿を検討していきたい。

○学校支援関連

- ・5・6年生の家庭科ボランティアは、9月～10月にかけてたくさんの方にお手伝いいただきました。(5年生 4回 のべ72名、6年生 2回 のべ34名の参加)
- ・募集の際に、「家庭科お手伝い参観」として、ボランティアという言葉を使わなかった。
- ・9月の保護者会で、先生よりお話をしてもらい、当日、飛び入り参加の方もいた。
- ・参加者へのお手紙を当事者のみに配布していたが、全員に配布したほうが、飛び入り参加が増えると思うとの意見をもらった。
- ・参加した方は、「これは大変ですね。」との声を多数いただいた。
- ・2年生の町たんけん引率ボランティアの募集を2回し、多数の応募をいただきました。無事に、町たんけんが出来ました。
- ・26日30名、27日25名希望の人数が集まりました。
- ・11月22日東京都地域活動推進フォーラムに行きます。また報告します。

○青少対関連

3学期の行事として年明けの2月8日(土)に、「ウォークラリーととん汁会」を予定しております。12月中に実踏を行い、必要な準備を進める予定です。

とん汁は3Fの調理室で作り、大きな鍋を2人で1Fの体育館まで運びます。当然の事ながら、鍋はとても重く、熱いです。3F→1Fへの階段を使つての運搬に関し、現状より安全な方法があれば、是非お知恵をお聞かせいただきたいと思っております。宜しく願い致します。

○見守りネットワーク

- ・見守りネットワーク定例会議 11月5日(火) 小平八小教室にて

議事内容

1. スケジュール確認 発表会。60周年記念行事 その他。
2. 情報交換 登校時の挨拶の様子 いろいろと感想ができました。
3. 街道公園 花植えについて 実施 11月29日 9, 30～
4. 次回会議予定 7年1月14日(火曜日)。

○地域防災を考える会

11月21日(木)に会議を行う。テーマは1月25日(土)の学校公開日に予定している「地域防災体験」について。消防署、消防団、市の担当者のほか、各学年の訓練を担当する方を確保することが重要な案件。段取りが大変。関係者の方々のご協力をお願いすることになりますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

(委員発言)

・地域防災訓練は、司会のような人を作って、全体ではじめに集まって、伝えて、進行していくようにしたらよいのでは。

〔検討事項〕

(1)周年行事について(校長)

委員会活動を中心に児童発案で進めている。ニコニコ岩やはちの子山ができた当時のお話を聞きたい。

(2)学習発表会について(校長)

ひと昔前までおこなっていた「学芸会」は、授業時数の余剰が多くとれる時代だったこともあり、20時間以上かけて練習することができた。そのため、時には大人も感動するような劇を発表することもあった。今の「学習発表会」は、現行の学習指導要領を受け、こどもが自分たちで「ああした方がいい」「こうした方がいい」と話し合いながら作ることを大切にしたい発表会に変わっている。また、他の学習の授業時数を圧迫しないよう、発表会に向けた練習時間が少ない中でこどもたちが中心になってつくっている。そういう目線で見えていただきたい。

(委員発言)

- ・運動会のように、学習発表会も今と昔で変わってきていることや、先生たちの思いをもっと発信してもよいのでは。
- ・発信媒体が配布するプログラムだけでは、そういったことは伝えきれないかも。ホームページに掲載したとしても、自分から積極的に見る保護者は少ないことも考えられる。どのような発信方法があるか。
- ・学校だよりで、校長先生から「学習指導要領をもとにこういう方針でやっている」と伝えては？
- ・発表の後に、当日の発表ではわからない、裏方で頑張るこどもたちを紹介してはどうか。
- ・今の保護者の方は昔の学芸会を見ていない人も多いかも。そういう方々にとってはそこまでギャップは感じないので、自分が小学生のころ、劇をやった記憶がない保護者もいるだろう。
- ・作り上げていく中でこどもたちが成長している過程を発信することで、本番を見て理解できたり、受け止めたりできるのかもしれない。もっと学習の過程、本番の前段階を知りたい。本番の前に発信してはどうか。
- ・下校中の児童が歌を歌いながら通っていった。その歌声からこどもたちが学習発表会を楽しみにしていることが伝わってきた。こどもたちは十分楽しさを感じていると思う。

(3)放課後子ども教室の現状について(放課後子ども教室担当)

放課後子ども教室をやめたくない気持ちは強いが、現状のままでは継続することが難しい。来年度にむけて、どうしたらよいか。相談したい。

放課後子ども教室は、放課後子ども教室のスタッフのほかに、安全管理(以下、安管)という教育活動サポーターの方に協力いただいて成り立っている。しかし、安管の方が連絡なくお休みをされるのが慢性的に続いている。そのような場合は、放課後子ども教室のスタッフが急遽対応している状況で、スタッフの方にかなりの負担がかかっている。

安管に対する保護者の意識が低くなってきていることが課題。今年度はしおりを作り、年度初めの保護者会でも説明させていただいた上で始めてきた。放課後子ども教室は、保護者のサポート(準備・片付け・見守り等)をお願いして成り立っている。ここに手伝いに入っただけないと放課後子ども教室はできない。放課後教室を継続していくために、どうしていけばよいか。保護者の方に気持ちよく協力いただけるために、どうしていけばよいか。

【放課後子ども教室の安全管理(安管)とは】

安管は、放課後子ども教室に参加するこどもたちの安全管理を担う。こどもたちと顔見知りになり、非常時に避難誘導をするなど、何かあったときに取りまとめる役割。市が決めた規定により、放課後子ども教室を開設するに当たり、安管を必ず決めなければならない。安管の人には謝金が発生し、名前を登録してもらっている。

(委員発言)

- ・安管として登録した方に毎回来ていただきたい。
- ・年間20回とか、コンスタントに参加できる保護者が少なくなっている。
- ・「前半後半で分ける」「この日は出る、この日は交代」など、保護者間で連絡調整してやっているのが現状。
- ・放課後子ども教室に対しての保護者の意識が、他人へのお願いの意識に寄ってしまっている。
- ・保護者の方の協力がなければ成り立たない旨を毎年度初めに伝えても、なかなかその意識が高まらない。
- ・放課後子ども教室はこどもの居場所を作ってくれていて、大きな意義がある。保護者は「預かってもらえる」という

感覚になっているのかもしれないが、そうではない。

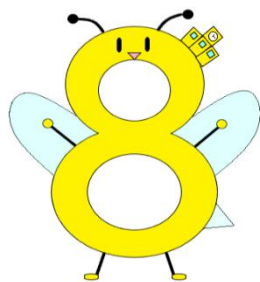
- ・当日、安管がいなければ、「本日の教室は中止」とまでする必要があるのだろうか。悩むところ。
- ・学校から保護者会で発信してはどうか。同時に PTA から保護者に発信できないか。
- ・放課後子ども教室の現状を懸念する一方で、保護者の方々の大変さも理解する必要がある。
- ・学校経営協議会の主役は PTA だと思っている。PTA の負担、保護者の共働きの大変さなど、この場で伝えていただき、耳を傾けていきたい。
- ・PTA 発信だと、「また PTA が言っている」と思われてしまうのも本意ではない。スタッフの負担が少なくなるように、協力はしたい。
- ・PTA は1年で交代するため、新しいことを始めるのには無理がある。経験者がサポートする体制づくりができるとういのだが…。

(4)その他(校長)

SNS のトラブル対応について対策をとる必要性を感じている。また、保護者会についても、オンライン参加や保護者の困り事を学校が聞く形態など、どのようなあり方がよいか、開催時期含め、考えていかなければならない。引き続き知恵を貸していただきたい。

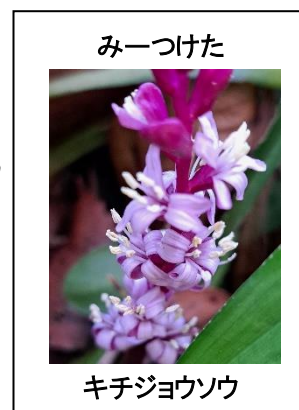
○副会長より

我々のミッションは、「こどもたちをよりよく育てていくこと」。その一つのツールが学校経営協議会。とん汁をどうやって運ぶか、放課後子ども教室をどう継続していくか、この場で知恵を出し合っていきたい。先月の CS だよりの運動会の記事のように、プロセスをオープンにしていくと、みんなで進んでいこうと形になっていくと感じた。今後ともよろしく願います。



次回の学校経営協議会は
12月11日(水)午後5時00分からです。
傍聴ご希望の方は学校へお問い合わせください。

小平市立小平第八小学校 〒187-0011 小平市鈴木町 1-355
TEL: 042-321-4872 Fax:042-321-4893



みーつけた

キチジョウソウ